

### (3) 授業の質的改善のプロセス

#### ア A校の質的改善のプロセス(※A校所属の研究委員の実践です。)

児童の実態を基に、目指す児童の姿を考えた。(6月)

算数科で育成したい資質・能力の面から、児童の実態を調査し、目指す児童の姿を考えました。

#### 知識及び技能

- ・立式だけで終わるのではなく、立式に至るまでの過程を大切にすることで、概念や性質に裏付けられた確かな知識及び技能を身に付けることができる。

#### 思考力、判断力、表現力等

- ・問題解決の方法を、図や式、言葉などで筋道を立てて表現することができる。

#### 主体的に学習に取り組む態度

- ・多様な考えを認め、他者と協働しながら、よりよく問題解決しようとする。

※目指す児童の姿は、新学習指導要領に関わる理論研究を基に考えました。

click



授業の質的改善に向けた取組スタート!

#### 1 今の授業をチェックする。【6月】

「授業振り返りチェックシート(一覧表)」で、各段階で目指す具体的な児童の姿を考え、自分の今の「授業づくりのステップ」をチェックしました。

#### 2 改善する段階を決定する【6月】

授業の質的改善に重点的に取り組む段階を決定しました。



「つかむ段階」と「学び合う段階」が【ステップ1】  
 だなあ。質的改善が必要だな。  
 「つかむ段階」では、課題に意欲的に取り組む姿、  
 「学び合う段階」では、図や式や言葉などを関連付け  
 て筋道を立てて表現する姿を目指そう!!

表 授業振り返りチェックシート(一覧表)		研究員
※対象 「授業づくりのステップ」		研究員
授業づくりのステップ		ステップ
□にイを入力、自分のステップをマークしてみましょう。		
1) やりかた	【ステップ1】 □ 「めあて」を明確にし、児童に示していますか? 【ステップ2】 □ 「めあて」は、1時間の授業で終わるようにならなければいけず、児童に理解させることができるようになっていますか? 【ステップ3】 □ 「めあて」は、単元の目標と結びつけられる形で示されていますか。児童の姿を振り返ることができているようになっていますか?	1
2) やりかた	【ステップ1】 □ 児童の学習の進捗の観察の取組を、児童に示していますか? 【ステップ2】 □ 児童の学習の進捗の観察の取組を、児童に示していますか? □ これまでの学習を基に「このようにしたらよさそうだ」「このようにしてみよう」などと、問題解決に向けたイメージを伴って児童にも考えをもちかかせていますか?	2
3) やりかた	【ステップ1】 □ 児童の学習の進捗の観察の取組を、児童に示していますか? 【ステップ2】 □ 児童の学習の進捗の観察の取組を、児童に示していますか? □ 児童の学習の進捗の観察の取組を、児童に示していますか? □ 児童の学習の進捗の観察の取組を、児童に示していますか?	2
4) やりかた	【ステップ1】 □ 児童の学習の進捗の観察の取組を、児童に示していますか? 【ステップ2】 □ 児童の学習の進捗の観察の取組を、児童に示していますか? □ 児童の学習の進捗の観察の取組を、児童に示していますか? □ 児童の学習の進捗の観察の取組を、児童に示していますか?	1
5) やりかた	【ステップ1】 □ 児童の学習の進捗の観察の取組を、児童に示していますか? 【ステップ2】 □ 児童の学習の進捗の観察の取組を、児童に示していますか? □ 児童の学習の進捗の観察の取組を、児童に示していますか? □ 児童の学習の進捗の観察の取組を、児童に示していますか?	1
6) やりかた	【ステップ1】 □ 児童の学習の進捗の観察の取組を、児童に示していますか? 【ステップ2】 □ 児童の学習の進捗の観察の取組を、児童に示していますか? □ 児童の学習の進捗の観察の取組を、児童に示していますか? □ 児童の学習の進捗の観察の取組を、児童に示していますか?	1
7) やりかた	【ステップ1】 □ 児童の学習の進捗の観察の取組を、児童に示していますか? 【ステップ2】 □ 児童の学習の進捗の観察の取組を、児童に示していますか? □ 児童の学習の進捗の観察の取組を、児童に示していますか? □ 児童の学習の進捗の観察の取組を、児童に示していますか?	2

A校の研究員による6月の授業の振り返り

※各段階で大切にしたいことは、授業の見直しと質的改善を図るための手立てで分かります。

click

**3 手立てを考える 【6月～7月】**

「段階ごとのチェックシート」の中から、自分の授業に取り入れたい「授業の質的改善の手立て・授業の質的改善の視点」を考えました。

【7月に取り入れた手立て（一例）】

つかむ段階の手立て

- ・ 資料の提示を工夫する。
- ・ 児童の気付きや発言に問い返し、児童の言葉でめあてをつくる。

学び合う段階の手立て

- ・ 相手の説明に質問をしたり、意見を言ったりする場を設定する。
- ・ 発表したことを、他の児童が再現する場を設定する。
- ・ 適宜、少人数での相談の場を設定する。

A校の研究員による自分の授業に取り入れたい「授業の質的改善の手立て・授業の質的改善の視点」

**4 手立てを取り入れた授業を行い、振り返る**

**5 質的改善に繰り返し取り組む 【6月～7月】**

「授業振り返り分析シート」に、改善を重点的に取り組む段階と「授業の質的改善の手立て・授業の質的改善の視点」を書き込み、それを取り入れて授業の質的改善に取り組みました。授業をしたら振り返りをしました。

【7月に行った授業と振り返り（一例）】

授業振り返り分析シート

単元名 比とその利用④ (7/6月)

段階	目指す具体的な姿	教師が取り組んだこと (意識したこと)	改善したこと・児童の反応
つかむ段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>何を学習するのかつかむ。</li> <li>本時のめあてを考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の学習の復習をすこすこで、本時の見通しを持つさせる。</li> <li>「どう思うか」、「どうして」と「なぜか」をもちこたせる等々</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★取り入れた手立て(3)(エ)</li> <li>(児童の発言に問い返してめあてを作った)</li> <li>電子黒板の効果的な活用</li> </ul>
学び合う段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>まずは、会話でよいこと。</li> <li>「任意で」教えてもらう。</li> <li>説明することができる。</li> <li>人の考えを理解することができる。</li> <li>自分に合う方法を選ぶことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>形式ばらない。★取り入れた手立て(ス)(セ)</li> <li>①説明</li> <li>②適き(相対量)をとり入れる。</li> <li>③板に書いて白い人に発表させる</li> <li>④手しりから説明させる</li> <li>⑤自分から話さずはない。</li> <li>⑥伏している部分を見つけて説明(問いつ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>よく話をしていた。</li> <li>(全体の話し合いの時に導入して、全ての児童が説明する②)</li> <li>(これは、(ス)でやった時に使ったこと)</li> <li>比の値を利用するやり方が表現、その子もいはいす</li> <li>★取り入れた手立て(ツ)(テ)(ト)</li> </ul>

A校の研究員による「授業振り返り分析シート」



【成果】・課題に意欲的に取り組む姿が見られるようになった！

【課題】・導入の工夫がもう少し・・・

- ・ 児童の言葉への価値付けができなかった。
- ・ 「なんでそう思ったの？」などと、根拠を問う発問が少なかった。



授業の質的改善に向けた 2 学期の取組

1 今の授業をチェックする。

【9月】

1 学期、授業の質的改善を図り、目指す児童の姿を育むことができたかどうか、「授業振り返りチェックシート（一覧表）」で今のステップを振り返りました。

項目	目指す具体的姿	授業づくりのステップ (□に○を入れ、自分のステップをチェックしていきましょう)	今のステップ
1	この単元の学習を通して「この単元」の学習内容を理解し、その知識・技能を身に付けていくことができるように指導している。	【ステップ1】 ①授業の目的・学習のねらいを明確にする。 ②学習のねらいを達成するために必要な学習活動を設計する。 ③学習のねらいを達成するために必要な学習活動を展開する。	2
2	この単元の学習を通して「この単元」の学習内容を理解し、その知識・技能を身に付けていくことができるように指導している。	【ステップ2】 ①授業の目的・学習のねらいを明確にする。 ②学習のねらいを達成するために必要な学習活動を設計する。 ③学習のねらいを達成するために必要な学習活動を展開する。	2
3	この単元の学習を通して「この単元」の学習内容を理解し、その知識・技能を身に付けていくことができるように指導している。	【ステップ3】 ①授業の目的・学習のねらいを明確にする。 ②学習のねらいを達成するために必要な学習活動を設計する。 ③学習のねらいを達成するために必要な学習活動を展開する。	3
4	この単元の学習を通して「この単元」の学習内容を理解し、その知識・技能を身に付けていくことができるように指導している。	【ステップ4】 ①授業の目的・学習のねらいを明確にする。 ②学習のねらいを達成するために必要な学習活動を設計する。 ③学習のねらいを達成するために必要な学習活動を展開する。	1
5	この単元の学習を通して「この単元」の学習内容を理解し、その知識・技能を身に付けていくことができるように指導している。	【ステップ5】 ①授業の目的・学習のねらいを明確にする。 ②学習のねらいを達成するために必要な学習活動を設計する。 ③学習のねらいを達成するために必要な学習活動を展開する。	1
6	この単元の学習を通して「この単元」の学習内容を理解し、その知識・技能を身に付けていくことができるように指導している。	【ステップ6】 ①授業の目的・学習のねらいを明確にする。 ②学習のねらいを達成するために必要な学習活動を設計する。 ③学習のねらいを達成するために必要な学習活動を展開する。	3

「つかむ段階」が【ステップ2】になった！でもまだ「学び合う段階」が【ステップ1】のまま。少しステップアップしたけど、目指す姿にもっと近付くために、2学期も頑張ろう！



2回目の「授業振り返りチェックシート」の結果から、2学期も重点的に授業の質的改善に取り組む段階を、「つかむ段階」と「学び合う段階」に決めて授業の質的改善に継続して取り組むことにしました。

A校の研究員による9月の授業の振り返り

2 改善する段階を決定する

【9月】

「つかむ段階」と「学び合う段階」に重点的に取り組むことにしました。

3 手立てを考える

【9月～11月】

【10月に取り入れた手立て（一例）】

つかむ段階	学び合う段階(ペア・グループ)	学び合う段階(全体)
こんな児童の姿を目指して	こんな児童の姿を目指して	こんな児童の姿を目指して
(ア)資料の提示を工夫する。 (イ)考えや予想がずれる場面を設定する。	(ア)話し合う目的を明確にする。 (イ)相手意識をもった説明の仕方を示す。 (ウ)相手の説明に質問をしたり、意見を言ったりする場を設定する。	(ア)発表された図や式のみを提示して解釈したり、関連付けたりする場を設定する。 (ウ)問題解決の過程が分かるように、本時で働かせたい数学的な見方・考え方を明確にした板書計画を立てる。
結果的質的改善の手立て	結果的質的改善の手立て	結果的質的改善の手立て
(ア)資料の提示を工夫する。 ✓ ◎ ○ △	(ア)相手の説明に質問をしたり、意見を言ったりする場を設定する。 ✓ ◎ ○ △	(ア)発表された図や式のみを提示して解釈したり、関連付けたりする場を設定する。 ✓ ◎ ○ △
(イ) 思考との違いを感じさせる。 ✓ ◎ ○ △	(イ) 相手の説明に質問をしたり、意見を言ったりする場を設定する。 ✓ ◎ ○ △	(ウ) 問題解決の過程が分かるように、本時で働かせたい数学的な見方・考え方を明確にした板書計画を立てる。 ✓ ◎ ○ △
(ウ) 考えや予想がずれる場面を設定する。 ✓ ◎ ○ △	(ウ) 相手の説明に質問をしたり、意見を言ったりする場を設定する。 ✓ ◎ ○ △	(ウ) 問題解決の過程が分かるように、本時で働かせたい数学的な見方・考え方を明確にした板書計画を立てる。 ✓ ◎ ○ △
(エ) 身近な題材から問題を設定する。 ✓ ◎ ○ △	(ウ) 相手の説明に質問をしたり、意見を言ったりする場を設定する。 ✓ ◎ ○ △	(ウ) 問題解決の過程が分かるように、本時で働かせたい数学的な見方・考え方を明確にした板書計画を立てる。 ✓ ◎ ○ △
授業中、以下の取組を促進しよう。授業が終わったら振り返りてみましょう。	授業中、以下の取組を促進しよう。授業が終わったら振り返りてみましょう。	授業中、以下の取組を促進しよう。授業が終わったら振り返りてみましょう。
授業中に意識すること(授業の質的改善の視点)	授業中に意識すること(授業の質的改善の視点)	授業中に意識すること(授業の質的改善の視点)
意見から引き出した言葉を書き取る。 ✓ ◎ ○ △	意見から引き出した言葉を書き取る。 ✓ ◎ ○ △	意見から引き出した言葉を書き取る。 ✓ ◎ ○ △
児童の気づきや発言に即応する。 ✓ ◎ ○ △	意見から引き出した言葉を書き取る。 ✓ ◎ ○ △	意見から引き出した言葉を書き取る。 ✓ ◎ ○ △

10月「速さ」の授業で取り入れた手立てです。2学期からは、段階ごとのチェックシートにチェック欄を設け、授業の質的改善に取り組んだ跡が分かるようにしていきました。



4 手立てを取り入れた授業を行い、振り返る

5 質的改善に繰り返し取り組む

継続して授業の質的改善に取り組む中で、少しずつ授業の様子が変容してきました。

【10月に行った授業の振り返り（一例）】

単元名 <u>速さ</u>		10月	
項目	授業の質的改善の手立て・授業中に意識すること	授業をとしての振り返り	
つかむ段階	①資料の裁切の工夫 ・着目させた部分と「スラッシュ」 ・生活経験、練習と似た問題の作成 ②→(問題)のあり	①問いのありか ②問いのありか	問いのありかについて等入が短時間で きた。 発言している言葉が児童から出てきた たの、スラッシュの中にあった。
学び合う段階	③発表区切り、ツリだし、 式、筆算の理由 ④まわりの目撃者、友達、キヤード (福一)④	①(福一)④ ②(福一)④	結論→式→数値の確認→理由と予定して いた流れが、児童の発言と進んで進んで 根拠の工夫ができた。 ・公倍数の考えもあげることができた。→手回し ・「A」の考えもあつた。→手回し ・「B」の考えもあつた。→手回し

A校の研究者による「授業振り返り分析シート」

⇒A校の実践と変容はこちらをクリック!!

click

6 目指す児童の姿を育むことができたかどうか、チェックする



各段階での目指す児童の姿が、見られるようになってきた！授業づくりのステップは「つかむ段階」が【ステップ3】になった！学び合う段階も、【ステップ2】になったよ！！  
3学期も授業の質的改善に継続して取り組んでいこう！

項目	目指す児童の姿	観察できたかどうか	回数
1	①資料の裁切の工夫 ・着目させた部分と「スラッシュ」 ・生活経験、練習と似た問題の作成 ②→(問題)のあり	○	2
2	③発表区切り、ツリだし、 式、筆算の理由 ④まわりの目撃者、友達、キヤード (福一)④	○	2
3	⑤まとめ、振り返り	○	2
4	⑥振り返りシート	○	2
5	⑦振り返りシート	○	2
6	⑧振り返りシート	○	2
7	⑨振り返りシート	○	2
8	⑩振り返りシート	○	2
9	⑪振り返りシート	○	2
10	⑫振り返りシート	○	2
11	⑬振り返りシート	○	2
12	⑭振り返りシート	○	2
13	⑮振り返りシート	○	2
14	⑯振り返りシート	○	2
15	⑰振り返りシート	○	2
16	⑱振り返りシート	○	2
17	⑲振り返りシート	○	2
18	⑳振り返りシート	○	2
19	㉑振り返りシート	○	2
20	㉒振り返りシート	○	2
21	㉓振り返りシート	○	2
22	㉔振り返りシート	○	2
23	㉕振り返りシート	○	2
24	㉖振り返りシート	○	2
25	㉗振り返りシート	○	2
26	㉘振り返りシート	○	2
27	㉙振り返りシート	○	2
28	㉚振り返りシート	○	2
29	㉛振り返りシート	○	2
30	㉜振り返りシート	○	2
31	㉝振り返りシート	○	2
32	㉞振り返りシート	○	2
33	㉟振り返りシート	○	2
34	㊱振り返りシート	○	2
35	㊲振り返りシート	○	2
36	㊳振り返りシート	○	2
37	㊴振り返りシート	○	2
38	㊵振り返りシート	○	2
39	㊶振り返りシート	○	2
40	㊷振り返りシート	○	2
41	㊸振り返りシート	○	2
42	㊹振り返りシート	○	2
43	㊺振り返りシート	○	2
44	㊻振り返りシート	○	2
45	㊼振り返りシート	○	2
46	㊽振り返りシート	○	2
47	㊾振り返りシート	○	2
48	㊿振り返りシート	○	2
49	㊿振り返りシート	○	2
50	㊿振り返りシート	○	2

A校の研究者による11月の授業の振り返り

算数科で育成したい資質・能力が身に付いたか考察した。(11月)

算数科で育成したい資質・能力の面から、児童の実態を再調査しました。授業の質的改善に向けた取組を継続することで、算数科で育成したい資質・能力が身に付いたかどうかを、学習状況調査や学級担任の見取りにより考察しました。

⇒実践の考察はこちらをクリック!!

click

授業の質的改善に向けた3学期の取組  
3学期も続けて授業の質的改善に取り組んでいきました。